

舞鶴市内の中小企業景況調査のまとめ

今期	令和7年 7月	～9月期の実績
来期	令和7年 10月	～12月期の見通

舞鶴商工会議所
中小企業相談所

この調査は、令和7年9月に実施した7月～9月の中小企業景況調査に係るアンケート（毎四半期実施）の結果をまとめたもので、今回の調査対象は市内の中小企業121事業所（前回121事業所）、有効回答数は92事業所（前回88事業所）で回収率76.0%（前回72.7%）でした。

業種別有効回答企業数は次のとおりです。

業 種	回答企業数	構成比 (%)
機 械 金 属 業	13	14.1
建 設 業	15	16.3
繊 維 工 業	3	3.3
木 材 業	5	5.4
水 産 加 工 業	7	7.6
サ ー ビ ス 業	21	22.8
小 売 業	16	17.4
卸 売 業	12	13.1
合 計	92	100

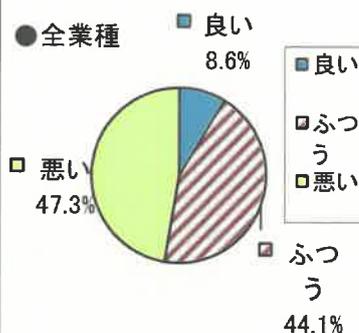
(注) 本文のDIとは「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

【業況の動向】

今期の業況の動向は、全業種でマイナス38.7となり、前期のマイナス36.0に比べて2.7ポイント悪化した。

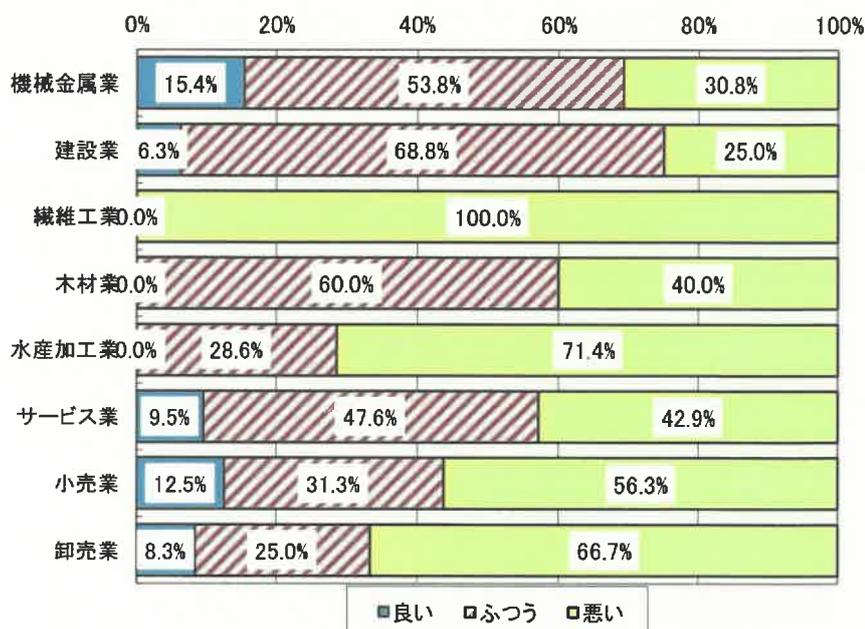
業種別に見ると、機械金属業、建設業、木材業、水産加工業、サービス業は改善した。一方、繊維工業、小売業、卸売業は悪化した。繊維工業はすべての事業所で悪化した。

来期は、前年同期比でマイナス21.5となり、今期比でマイナス15.1となり改善する見込み。



業況DI(「良い」-「悪い」)

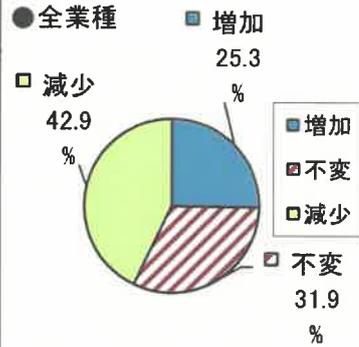
	実績 (今期の水準)					来期見通し (前年同期比)	来期見通し (今期比)
	令和6年 7月~9月	令和6年 10~12月	令和7年 1~3月	令和7年 4~6月	令和7年 7~9月	令和7年 10月~12月	令和7年 10月~12月
全業種	-41.6	-31.0	-44.7	-36.0	-38.7	-21.5	-15.1
機械金属業	-18.2	-18.2	-57.1	-23.1	-15.4	-7.7	0.0
建設業	-28.6	-12.5	-18.8	-20.0	-18.8	6.3	-6.3
繊維工業	-100.0	-33.3	-66.7	33.3	-100.0	-33.3	-33.3
木材業	-50.0	-25.0	-33.3	-50.0	-40.0	0.0	-20.0
水産加工業	-66.7	-50.0	-83.3	-83.3	-71.4	-14.3	-28.6
サービス業	-28.6	-35.3	-40.9	-42.1	-33.3	-23.8	-9.5
小売業	-43.8	-47.1	-50.0	-37.5	-43.8	-43.8	-25.0
卸売業	-64.3	-30.8	-50.0	-46.2	-58.3	-50.0	-25.0



【売上額の動向】

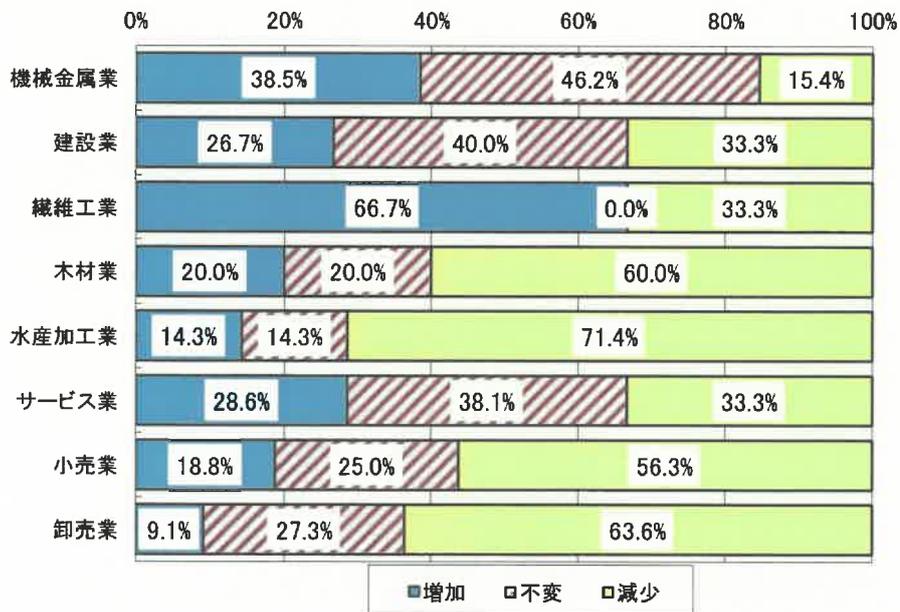
前年同期と比べた今期の売上額の動向は、全業種でマイナス17.6となり、前期のマイナス13.6に比べ4ポイント悪化した。来期はマイナス12.9となる見込み。

業種別に見ると、機械金属業、水産加工業、サービス業は改善した。一方、建設業、繊維工業、木材業、小売業、卸売業は悪化した。



売上額DI(「増加」-「減少」)

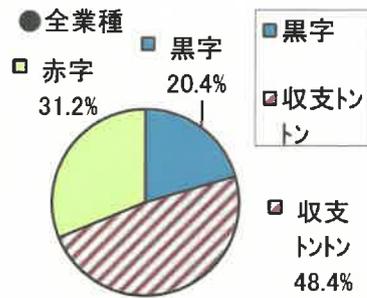
	実績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和6年 7月~9月	令和6年 10月~12月	令和7年 1月~3月	令和7年 4月~6月	令和7年 7月~9月	令和7年 10月~12月
全業種	-15.6	-16.5	-20.2	-13.6	-17.6	-12.9
機械金属業	-18.2	-10.0	-42.9	0.0	23.1	-7.7
建設業	0.0	-13.3	-20.0	0.0	-6.7	18.8
繊維工業	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0
木材業	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-40.0	-20.0
水産加工業	-50.0	-66.7	-66.7	-66.7	-57.1	-28.6
サービス業	-9.5	-17.6	9.1	-22.2	-4.8	-14.3
小売業	-12.5	-29.4	-37.5	0.0	-37.5	-25.0
卸売業	-40.0	0.0	-25.0	-38.5	-54.5	-33.3



【採算(経常利益)の動向】

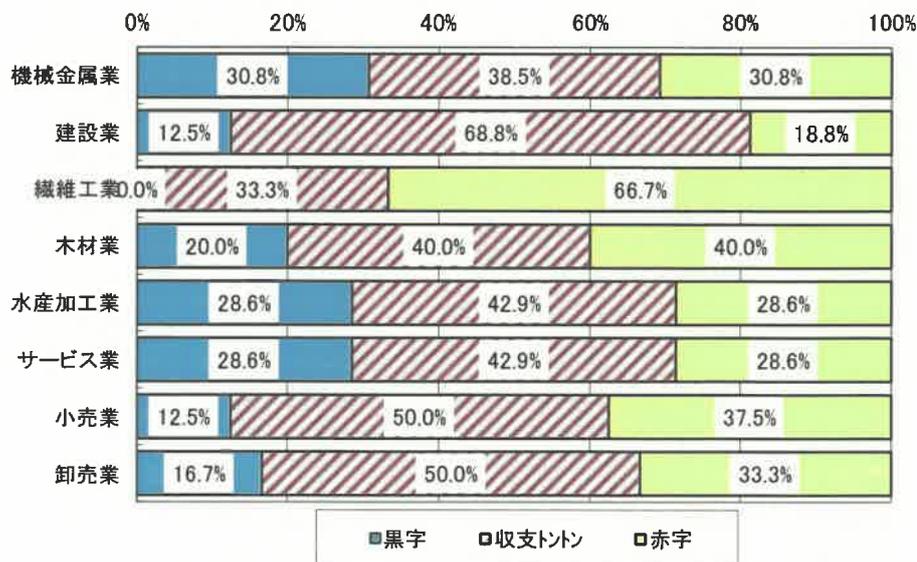
今期の採算(経常利益)の動向は、全業種でマイナス10.8となり、前期のマイナス7.9に比べ2.9ポイント悪化した。来期はマイナス18.5となる見込み。

業種別に見ると、建設業、水産加工業、サービス業、卸売業は改善した。一方、繊維工業、木材業、小売業は悪化した。機械金属業は横ばいで推移した。



採算(経常利益)DI(「黒字」-「赤字」)

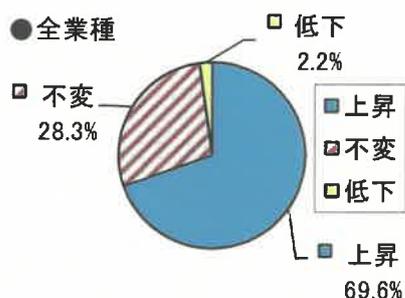
	実 績 (今期の水準)					来期見通し (前年 同期比)
	令和6年 7月~9月	令和6年 10月~12月	令和7年 1月~3月	令和7年 4月~6月	令和7年 7月~9月	令和7年 10月~12月
全業種	-17.0	-7.4	-17.1	-7.9	-10.8	-18.5
機械金属業	-18.2	-10.0	-33.3	0.0	0.0	0.0
建設業	-28.6	-12.5	-18.8	-20.0	-18.8	12.5
繊維工業	-100.0	-33.3	-66.7	33.3	-100.0	-33.3
木材業	-25.0	0.0	-33.3	25.0	-20.0	-20.0
水産加工業	-83.3	-60.0	-66.7	-16.7	0.0	-14.3
サービス業	-9.5	-5.9	-14.3	-15.8	0.0	-33.3
小売業	-28.6	-7.1	-31.3	-18.8	-25.0	-37.5
卸売業	0.0	7.7	0.0	-23.1	-16.7	-27.3



【材料仕入単価の動向】

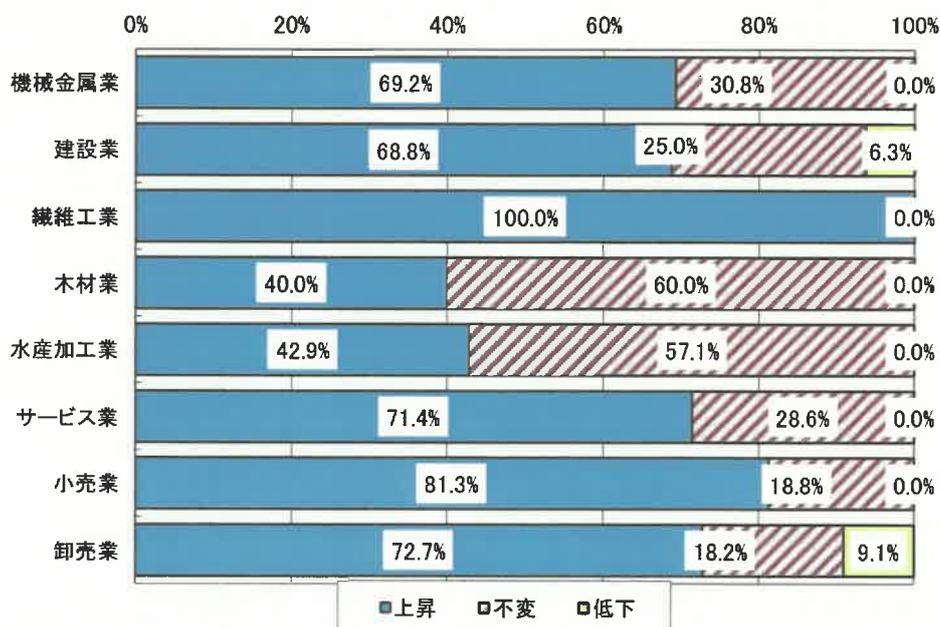
前年同期と比べた今期の材料仕入単価の動向は、全業種で67.4となり、前期の75.6に比べ8.2ポイント低下した。来期は68.8になる見込み。

業種別に見ると、繊維工業、サービス業、小売業は上昇した。一方、機械金属業、建設業、木材業、水産加工業、卸売業は低下した。



材料仕入単価DI(「上昇」-「低下」)

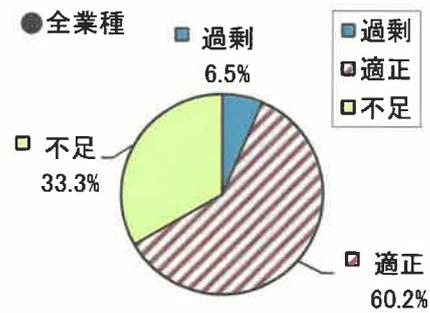
	実績 (前年同期比)					来期見通し (前年同期比)
	令和6年 7月～9月	令和6年 10月～12月	令和7年 1月～3月	令和7年 4月～6月	令和7年 7月～9月	令和7年 10月～12月
全業種	71.8	81.2	75.9	75.6	67.4	68.8
機械金属業	70.0	80.0	71.4	76.9	69.2	53.8
建設業	92.9	93.8	73.3	86.7	62.5	81.3
繊維工業	66.7	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0
木材業	75.0	50.0	0.0	50.0	40.0	40.0
水産加工業	60.0	83.3	66.7	83.3	42.9	42.9
サービス業	66.7	81.3	81.0	68.8	71.4	66.7
小売業	62.5	82.4	87.5	68.8	81.3	87.5
卸売業	73.3	69.2	75.0	84.6	63.6	66.7



【雇用の動向】

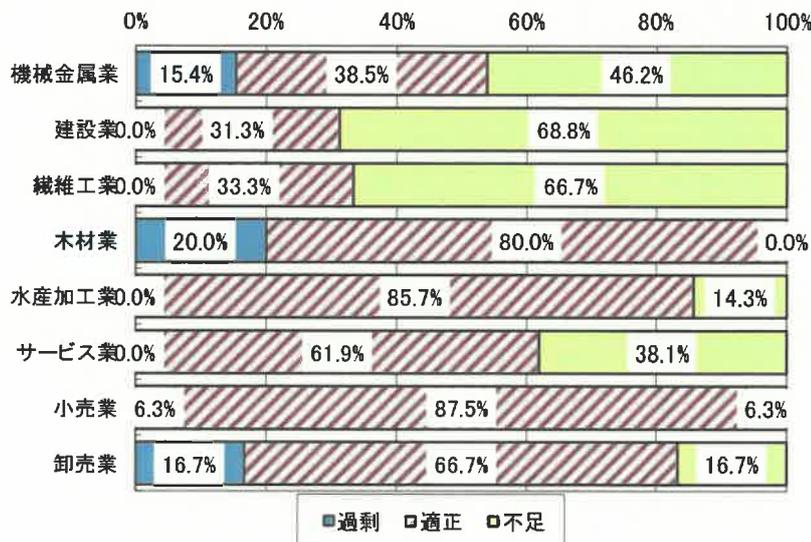
今期の雇用動向は、全業種でマイナス26.9となり、前期のマイナス31.8から4.9ポイント改善した。

業種別にみると、水産加工業、小売業、卸売業は改善した。一方、建設業、木材業、サービス業は悪化した。機械金属業、繊維工業は横ばいで推移した。



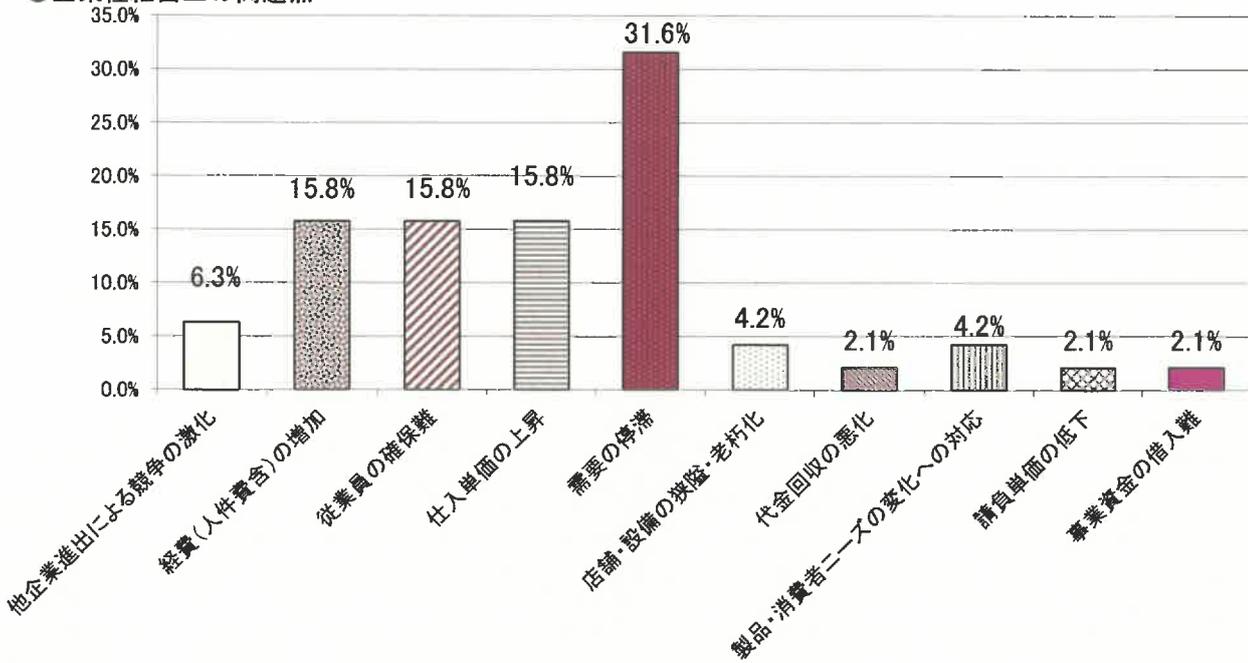
雇用DI(「過剰」-「不足」)

	実績 (今期の水準)				
	令和6年 7月～9月	令和6年 10月～12月	令和7年 1月～3月	令和7年 4月～6月	令和7年 7月～9月
全業種	-28.1	-31.8	-34.1	-31.8	-26.9
機械金属業	-10.0	-30.0	-16.7	-30.8	-30.8
建設業	-42.9	-60.0	-50.0	-60.0	-68.8
繊維工業	-33.3	0.0	-100.0	-66.7	-66.7
木材業	-25.0	0.0	0.0	0.0	20.0
水産加工業	-16.7	-16.7	0.0	-16.7	-14.3
サービス業	-52.4	-41.2	-47.6	-33.3	-38.1
小売業	-12.5	-17.6	-18.8	-23.1	0.0
卸売業	-13.3	-30.8	-25.0	-15.4	0.0



【経営上の問題点】

●全業種経営上の問題点



●業種別経営上の問題点

機械金属業	需要の停滞		従業員の確保難	
建設業	従業員の確保難	33.3%	需要の停滞	26.7%
	仕入単価の上昇	33.3%		
繊維工業	従業員の確保難	33.3%		
	需要の停滞	33.3%		
	製品・消費者ニーズの変化へ	33.3%		
木材業	経費(人件費含)の増加	25.0%		
	従業員の確保難	25.0%		
	仕入単価の上昇	25.0%		
	需要の停滞	25.0%		
水産加工業	仕入単価の上昇	40.0%	従業員の確保難	20.0%
			需要の停滞	20.0%
			請負単価の低下	20.0%
サービス業	経費(人件費含)の増加	33.3%	仕入単価の上昇	22.2%
			需要の停滞	16.7%
			製品・消費者ニーズの変化への対応	16.7%
小売業	需要の停滞	35.7%	従業員の確保難	14.3%
			仕入単価の上昇	14.3%
			店舗・設備の狭隘・老朽化	14.3%
			製品・消費者ニーズの変化への対応	14.3%
卸売業	仕入単価の上昇	42.9%	需要の停滞	35.7%
			他企業進出による競争の激化	7.1%
			経費(人件費含)の増加	7.1%
			従業員の確保難	7.1%

参考 上位 3位の項目推移

令和7年4月～6月	①需要の停滞28.6%	②仕入単価の上昇25.0%	③従業員の確保難 16.7%
令和7年1月～3月	①需要の停滞30.8%	②仕入単価の上昇22.0%	③従業員の確保難 18.7%
令和6年10月～12月	①需要の停滞33.3%	②仕入単価の上昇16.1%	③ 経費(人件費含)の増加15.1%、従業員の確保難 15.1%
令和6年7月～9月	①需要の停滞30.8%	②経費(人件費含)の増加17.9%	③ 仕入単価の上昇14.5%